

# 磐城時報

編輯兼發行所 福島縣石城郡平田町十四丁目  
印刷所 福島縣石城郡平田町十四丁目  
電話 二二二番  
發行部 福島縣石城郡平田町十四丁目  
電話 二二二番  
廣告部 福島縣石城郡平田町十四丁目  
電話 二二二番

## 植田小野新町線及蛭田川 縣費に編入とる

### 古川縣議の運動奏効し 喜ぶ地方民

石城郡植田町から山田、上遠野なつたが追加工事は御真影奉安入遠野、澤渡、三坂村より東白所がまだ終了せぬため今年中に川村、宮本村、田村郡夏井井村を落成式を舉行するは困難の様經過小野新町に至る小野新町植で近く村會を開きそれら協同協同の六里二十六町三十間の路する等であるが來春早々舉式され並に石城郡川部村地内大丸山より發し錦村大字中田に於て大洋津に注ぐ延長三里四丁の蛭田

## 御親閱 消防組員人選

聖上陛下には來月六日東京市宮城二重橋前に於て全國消防組の選拔組頭並に小頭三萬數千人の御親閱を仰せ出されたので平署管内二十二ヶ町村消防組に對し各組一名宛の参列者を選中である。

## 五十萬圓 低資借入

### 第三方面 女子青年總會

全國の中小工業業者救済の趣旨から低利資金の融通を政府が發石城郡第三方面女子青年總會表し本縣でも之が借り入れ希望は二十六日午前十時より平町平署を募つたので石城郡では各町館に於て開催する。

## 川部村王城炭礦 復活を急ぐ

石城郡川部村王城炭礦株式會社を待ちつゝある。一方會社に於ては昨年四月労働争議の勃發によつては内郷村に於ける舊坑を閉先營を持し來りしも、財界の不振の収入あり、庶務課長中村良助に決定し二十三日預金者に夫々諒解を求めの通知書を發した。

## 勿來校竣工式、勿來 小學校の新築工事は漸く竣工と

日に至つたが、舊坑夫長屋にはを辨濟すると共に着手金の準備日午前一時半から五時まで全町來たと見へて平署における最近遺骸の休銀續出に該隊立金が出見當である。

## 無鐵砲な自動車 目茶苦茶に突當る

### 追ひ越さうとして

湯本町鈴木自動車部湯本、平間一月乗車人員總數七萬七千五百乗合自動車三浦安次郎（二八）四十一人、降車人員六萬四千二百九十五人、本月は十二月二十日までの計算に依れば乗車人員四萬七千四百九十九人、降車人員四萬六千五百八十四人で更に本日は殘余の日數を加算するならば乗車人員に於いて約一萬人近い増加を見るであらう。

## 磐城銀行 休業續行

休業中の平町磐城銀行では二十三日重役會を開き休業公告期日前に於て更に之を追ひ越さうとして誤つて通行中の平町新川町

## 古河炭礦が最高 四十割から三十割

### 話はボーナスで持切り

春を吹く風が一しほ身にしみ、歳末は遠慮なく押詰まり不景氣のどん底にたゞのめされた石城郡地方は何れも金策や申請に青息吐息の、むしろ無慘な状態である。此の歳末に當り長民開會の辭に加入學生諸君の懇親の意味を述べ終つて惠澤幹事長から庶務會計の報告をなした。次いで會員の五分間演説にてまづ與をわかし續いで余興に入り熊田三郎君の手品、その他數番の余興があり和氣あい、裡に同五時散會。

## 平署非常召集

中署では廿二日午後十一時全員召集で廿三日午後一時召集で廿四日午前一時召集を行ひ廿三日午前一時半から五時まで全町來たと見へて平署における最近遺骸の休銀續出に該隊立金が出見當である。

## 納税組合獎勵

一年々々不況が深刻の度を加へむ等悲喜交々の状態、歳末もつゝある結果各町村とも納税滞り納税者が激増したために各種新規事務切つてあるが、平町役場の賞額は總額が二千六百圓余、此は勿論定期の俸給等にも影響を與へる中町長が五百圓、助役が三百圓、収入役が二百圓、計一千圓が納税組合の設立を措いて他を差引き残りの一千六百圓余を傾注してあるが石城郡地方はるので、最高は二十割平均十二割の休銀續出に該隊立金が出見當である。

## 併句運座會

平町堂の前平澤雪哉方で正月三日併句運座の例會を開く筈で會費三十錢（夕飯付）兼題は「田家の朝」三句吐寄持、席題は未定であるが準備の都合あるため希望者は主催者平澤方へ申込みべし。

## 平役場の ボーナス

最高廿割から平均十二割

### 小名濱漁船 暗礁に乗りこく

乗組員無事  
石城郡小名濱町古港野崎字平  
所有漁船卅馬力乗組員十名が廿  
二日夜十時頃出漁の歸途双葉郡  
久之濱町大字金澤沖合を航行中  
暗礁に乗りこき船體破損し急報に  
より附近沿岸の消防組、青年團  
出動救助作業の結果乗組員は全  
部無事であつた。

### 撞球大會 一等五十圓

ス・ランの  
平町町町ス・ラン撞球場では正  
月六日新年撞球大會を舉行する  
等で會費夕食新権三本附で二  
圓競技方法は三人撞き連続四勝  
者を優勝候補者としこの外殊勲  
者の決勝をも行ふ管で賞品如左  
▲一等五十圓 ▲二等三十五圓  
▲三等十五圓 ▲四等銘仙反物  
▲五等十圓以下十等迄

### 植田の消火設備

田町消防第一大部植田では  
御大典記念として諸設備の完備  
を企劃し二千圓内外の豫算で高  
さ五十尺の鐵骨火の見櫓及本町  
上町多座入口角並に本町警東  
銀行前の二ヶ所に深さ七尺縦四  
間横四尺容量九十石のコンクリ  
ート貯水池を設置すべく客附募  
集中の處殆んど豫定額に達する  
の好成績で左の如く工事請負人  
の選定中であつたが廿一日火の  
見は警備付九百圓で植田町三好  
鐵工場に、貯水池は一個を三百  
八十五圓で同町成澤巴三、一個  
を三百五十一圓で同町中山組、  
火の見基礎工事は常務工業株式

### 西洋料理の拵方

イワキ食堂主  
森川泰一郎  
(二〇〇)  
西洋料理の喰へ方(前承)  
さて之れで、一通りの輪廓だ  
けは申し上げたつもりであり  
ますが、最後に思ひ出したま  
まに數個の御注意を申し上げ  
ることにいたします。

パンは大抵フツ付けに喰べる  
人がありますが、先づスノー  
を一匙か二匙吸ふてから喰べ  
るがよろしく、そしてバナ  
ナの装置がなかつた場合は  
なるべくナイフを用ひすに  
手で割りながら自分の皿に取  
り分けたバナナをつけて喰べ  
ることが宜しい様です。  
ローストの皿が下げられて、  
ブディングが運ばれるとそれ  
からデザートコース(食後の  
ものに)に入るわけでありま  
すから、此時主人側が立つて  
挨拶する形式になつて居りま  
す。その時はローストの時注  
がれたシャンパンが残つて居  
りますので挨拶の終るや否や  
一同立つて主人の爲めに干盃  
を行ふと云ふ順序であります  
面倒臭い様式ではあります  
中々意味があり、洗練された  
様式ではありませんか。  
食事中無暗に自分一人で喋香  
らないこと、器物の音をさせ  
ぬこと、コーヒールが出るまで  
自分の席で煙草を喫まないこ  
と、齒すり、しゃくり、ゲ

ツブ等を抑へること、人の前  
を越して其の先にある果物を  
取らぬこと、物が落ちても絶  
對に拾はぬこと、食事中座を  
離れたり、揚枝を使用しない  
等のことは洋食會場では最  
も心得て置かねばならぬこと  
であります。又座席は理想を  
希望すれば男女交互に並び、  
夫妻は絕對に差向ひたるべき  
事、若しも主人夫妻來賓二人  
の食卓でありますならば、主  
人の向ふに主人の妻、その隣  
に來賓の夫人が座すべきであ  
ります。尚洋食の席には婦人  
は兎も角、男子の和服は遠慮  
した方がよろしい様であります。

私是不幸にして構想散漫で筆  
不精、到底之れを讀まれた  
けでは一般の御了解は望まれ  
ぬところでありますが、もの  
は習ふより慣れよと云ふこと  
がありますから、之れを概念  
にして實地の練習が肝要と思  
ひます。近來會食の機会が多  
くなつて來ました、紳士とし  
ての禮儀を失せぬ様是非實地  
の御練習を望む次第でありま  
す。(終り)

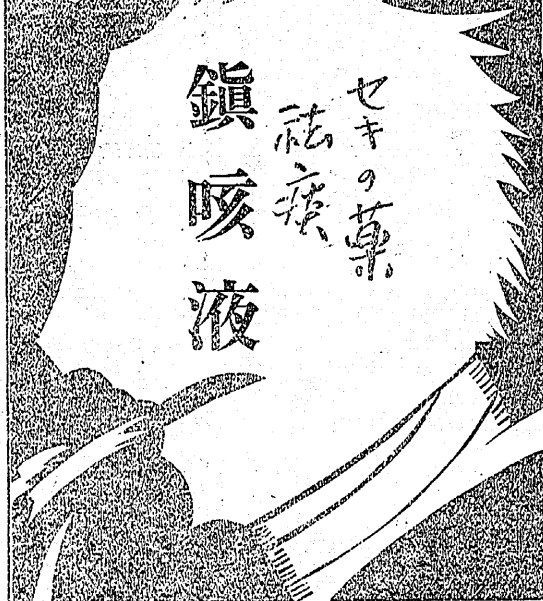
二一一日より  
歳末大興行  
ラリーシモン主演映畫  
笑國萬歳全七  
▲マキノ超特作 原作脚色中  
島實三  
俠客 首斬地蔵  
▲帝キネ獨特正笑劇 現代劇  
頓珍漢三人男  
▲帝キネ連續特作  
次郎長外傳 愈々佳境  
大政小政 篇後  
▲本日より普通席金十錢  
帝キネ 有聲座

## 最新式大寫眞場完成

### ——二十五日開業——

時代の進歩に伴ひまして寫眞撮影場  
の大改革を計劃し工事中の處完成致  
しました。就ては從來のものより一  
層優れたる寫眞を御覽に入れ得る事  
と自信して居ます。何卒倍舊の御後  
援御引立の程を懇願奉ります

平町南町川岸通り(電話六一五番)  
**岡山寫眞館**  
館主敬白



### セキヤ草 祛痰 鎮咳液

年末年始の御用命は

特約内關  
局藥内關  
平町四丁目電話四〇番

### 鎮咳液

瓶詰

平町四丁目平驛通り  
永山酒造店小賣部  
電話二〇七番

### 本日ヨリ開業致シマシタ

御引立ノ程ヲ願ヒマス

御料理 浩 樂  
電話一〇二番

### 高島屋洋服店

平町驛前通り  
電話八〇七番

### 防寒具の御用意は!!!

トインビ 九〇〇ヨリ  
オーバビ 七〇〇ヨリ  
モチリ 四・五〇ヨリ

其他各種豊富着荷

なかや洋服店  
平町二丁目(電話二〇三)

### 新築移轉御披露

(平町南町  
舊診療所向)

### 耳鼻咽喉科 專

### 氣管食道科 門

病室完備：自炊の便あり

平町南町 大和田醫院  
電話一七〇番

平驛前  
電話三三七

### 阿部石炭商店